

～第6回 都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会に出場して～

法勝寺中学校ソフトボール部

2年（現3年）多月彩花、三村祐理弥、安野瞳、山本佳奈

1年（現2年）嶋田萌

<多月彩花>

私は、鳥取県選抜のピッチャー候補として選ばれ、3か月間練習を重ねてきました。辛い事もありましたが、時には厳しく注意し合いながらお互いに励まし合い練習を重ねてきました。

全国大会では、私が望んでいたピッチャーとして投げることはできず、ライトの守備だけでの出場となってしまいました。大会までの選抜チームの監督やコーチのみなさんが指導してくださったことは自分にとって、とても良い経験となりました。

選抜チームは終わりにりましたが、この経験を生かし法中のエースとして投げれるよう努力を続けて行きたいと思います。

そして、県選抜チームを応援してくださった方々、監督、コーチ、また両親への感謝の気持ちを忘れずがんばっていきます。本当に応援ありがとうございます。



<三村祐理弥>

3月27日から福岡県で行われた第6回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会で本当にいい経験をさせていただきました。

他の中学の人達の姿を見てソフトボールに対して意識の高さ、仲間との信頼さや自分が今まで言えないことも言えるようになりました。

私は法中ではキャッチャーを守っていますが、選抜ではファーストを守ることになりました。本当に最後までできるか不安でしたが、やり切ることができました。

私が一番この選抜で学んだことは、プレーに関してもですが、「感謝の気持ちを忘れない」ことを教えてもらいました。

これは日頃、法中の監督やコーチなどと言われてたのですが改めて思いました。

全国大会第一試合は、熊本県と当たりました。緊張しました。途中のピンチの場面がありましたが、チーム一丸となって守ることができました。

私の家族は見に来れなかったけど、本当にこの3か月間、落ち込みそうになった私を励ましてくれたり、東伯や倉吉まで乗せて行ってもらったのは本当は恥ずかしかったけど、心の中ではとても「感謝」しています。

選抜が終わって、今度は他の中学の人たちと一人一人がライバルになっていくので、負けないように頑張っていきたいです。

私たちが教えてもらったことを法中ソフト部の人たちに教えて、いいチームになっていくようにしたいと思います。

最後に応援してくださった皆様、ありがとうございました。

<安野瞳>

選抜に受かって、試合や練習チームの仲間と過ごしている中で、たくさんのことを学びました。

最後の試合は一人ひとりが全力を出し切りました。辛いこともあったけど、最後までこのチームで戦えてよかったと思いました。

3か月間、自分達のために一生懸命になってくださった親や保護者の方々に感謝します。

これから最後の試合まで、自分のできる精一杯のことを悔いの残らないようにやりきります。

応援ありがとうございました。



<山本佳奈>

県選抜に選ばれてレギュラーで試合に出させてもらい、なかなか結果が出せなかったことを反省し、この反省を自分のチームに役立たせたいです。

約3か月間、本当にいい経験をさせていただきました。

指導者のみなさん、保護者のみなさん、そして応援してくださった方々には感謝の気持ちを忘れません。

この選抜で自分が学んだことを法中に生かして“県優勝”を目指して頑張ります。

本当にありがとうございました。

<嶋田萌>

本大会では自分の力を発揮できませんでした。

自分の心の弱さを知ることができ、次への課題が見つかりました。

鳥取県選抜に選ばれ、学んだことを忘れずに、これから大事な試合に向けて努力していきます。

来年も代表に選ばれるよう頑張ります。